

公開講座

「DEMから合成される地形解析画像による地形判読」 —(第1回) いろいろな地形解析画像とその特徴—

1990年代末頃から、DEMを用いた地形解析手法の提案が盛んにおこなわれるようになり、現在では多種多様な地形解析画像(例えば、陰影起伏図、赤色立体地図など)が手軽に利用可能となってきた。一方、利用者の側からすると、利用目的に対して、どの画像が適しているかを判断するのに当惑する事も少なくないと思われる。まずは、それぞれの地形解析画像の特徴を理解する事が大切である。

本講座は、地形判読に適した地形解析画像のあり方について、下記の項目を2回に分けて解説する事を計画しており、第1回においては、項目(1)~(4)について言及する。(第2回は令和2年7月頃開催予定)

- (1) DEMの演算処理から得られる地形特徴量
- (2) 単一の地形特徴量から作成される地形解析画像
- (3) 複数の地形特徴量を用いて合成される地形解析画像
- (4) 立体視画像(アナグリフ)として合成された地形解析画像
- (5) 地形判読の立場からみた各種地形解析画像の評価
- (6) マルチバンド立体地形解析画像による地形判読

第1回

なお、本講座で取り扱う画像とは正射投影法による画像を対象としている。

■ 日時 令和2年1月22日(水) 16:00~17:30

※講演:16:00~17:00/質疑応答:17:00~17:30

■ 会場 (公社)日本測量協会 研修室(文京区白山1-33-18 白山NTビル5階)

■ 講師 横山 隆三 氏 岩手大学名誉教授

□ 参加費 無料

□ CPDポイント 測量CPD1ポイント

□ 定員40名

□ 申込み方法

[こちらをクリックして、受付システムによりお申込みください](#)

申込み〆切日 1月8日(水)

(定員になり次第締め切らせていただきます)

お問い合わせ メール: open-ic@jsurvey.jp

Tel:03-5684-3357 (担当:遠藤 拓郎)